

平成23年度以降に競争性のある契約に移行予定のもの(第1四半期)

(独立行政法人名: 農業・食品産業技術総合研究機構)

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	移行困難な事由	移行予定年限	備考
カラーデジタル複合機保守及び消耗品供給(単価契約)	農村工学研究所長 小前隆美 (茨城県つくば市観音台2-1-6)	平成22年3月8日	コニカミノルタビジネスソリューションズ(株) (東京都中央区日本橋町1-5-4)	会計規程第38条第1号	-	1,654,253	-	0	高性能かつ専門性の高い機械であるため、製造メーカー以外では対応することができず、競争を許さないため。	平成23年度	
分析試験(単価契約)	生物系特定産業技術研究支援センター所長 前川泰一郎 (埼玉県さいたま市北区日進町1-40-2)	平成22年3月25日	(財)日本穀物検定協会 (東京都中央区日本橋兜町15-6)	会計規程第38条第1号	-	1,185,960	-	0	本事業は、専門的知見及び技術力等を重視する必要があるため、価格のみの競争に馴染まないため随意審査委員会を行った。その結果、契約相手方が国内で唯一食味官能試験を実施していること、また分析評価機関として高いノウハウをもっている、さらにこれまでの業績・実績を踏まえ契約相手方として決定し、競争を許さないため。	平成23年度	
稲わら成分分析業務	生物系特定産業技術研究支援センター所長 前川泰一郎 (埼玉県さいたま市北区日進町1-40-2)	平成22年4月19日	(財)日本食品分析センター (東京都渋谷区元代々木町52-1)	会計規程第38条第1号	-	2,443,350	-	0	本分析には稲わらの前処理が必要であるが、前処理から分析までを一環して実施している機関は他にないため競争を許さないため。	平成23年度	
印刷物 農業水利施設のマネジメント工学	農村工学研究所長 小前隆美 (茨城県つくば市観音台2-1-6)	平成22年5月21日	(株)養賢堂 (東京都文京区本郷5-30-15)	会計規程第38条第1号	-	2,047,500	-	0	当該印刷物は、当所が先相手方に出版許可の承認を行った書籍であり、出版許可承認時に先相手方よりの購入を決定しているため。	平成23年度	

〔記載要領〕

1. 本表は、「随意契約見直し計画」の対象となっている契約を対象とすること。
2. 本表は、平成22年度に締結した契約(平成21年度に契約した22年度分単価契約を含む。)のうち、平成23年度以降に競争性のある契約への移行予定のものについて、当該契約ごとに記載すること。
3. 本表は、「公共調達 の適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3. の記載方法に準じて記載すること。
4. 「移行困難な事由」欄は、平成21年度に競争性のある契約に移行できなかった事由を記載することとし、「移行予定年限」欄は、平成22年度以降の具体的な移行予定年限(例:平成22年度)を記載すること。